



## 世代を超えてコミュニケーションする

---

史上初めて、4つの異なる世代が職場で一緒に仕事をする時代になりました。専門職、ビジネスに携わる女性の組織として、ソロプチミスト・クラブは、リクルート、チーム作り、変化への対応、意欲の引き出し、運営管理など、職場に影響を与えている世代間の違いから、ヒントを得ることができます。すべては、つまるところコミュニケーションにたどり着きます。

人はその世代的背景を基にコミュニケーションすることが研究から判っています。すべての人を一括りにすることはできませんが、それでも、同じ世代、年齢層の人はしばしば、共通の経験をしています。これら共有する経験から、同じ世代、年齢層の人は、似たような価値観を持っています。

ソロプチミスト・クラブ内に様々な世代の会員がいることは、組織を包括的にし、多様性を促進します。すべての世代が、女性と女児の生活を改善するというソロプチミストの使命を支援する能力を持っています。異なった世代間のコミュニケーションをとる方法を学ぶと、誤解を防ぎ、クラブがより効果的かつ効果的に機能するようになります。以下の情報をご覧になって、人によってはどのグループにも当てはまらないということもあるでしょうが、ここで紹介するのは、価値観や行動についての大きな共通点です。

### 世代の特徴

#### **サイレント世代：1925年から1941年までに生まれた世代（69歳以上）**

第2次世界大戦中に成人となった世代で、こうした時代に育った影響が、このグループの行動に見られます。最もはっきりした特徴の一つは、他人の苦境へ気遣いです。この世代はまた、慎重である傾向があります。すなわち、貯蓄に重きを置いた暮らし方をします。この世代は、責任に価値を見出し、女性は、組織内で活動するチームプレーヤーである傾向が強いです。サイレント世代は、勤勉と犠牲によって目標を達成します。このグループの女性たちは、労働人口に積極的に参入した最初の世代です。

サイレント世代とコミュニケーションする最良の方法は、直接顔を合わせてのコミュニケーションです。フォーマルな催し、さらに記念や表彰イベントはとてもうまくいきます。直接の手紙、電話を使ったやりとり、そして最近ではインターネットが、このグループと意思疎通するよい方法です。サイレント世代のEメールの利用は増えてつつありますが、他の世代と同じレベルにはありません。

### **ベビーブーマー世代：1942年から1964年までに生まれた人（46-68歳）**

このグループは現在、最も大きな部分を占めています。この世代に属する人々は、第2次世界大戦後に生まれた赤ん坊です。このグループは、多くの文化の中で、「権威に対する疑問」を抱いている世代としても知られています。ブーマー世代の多くは、数多くの国々で先例のない雇用・教育の機会に恵まれました。このグループは、創造性に価値を置きます。彼らの両親は体制に順応しましたが、この世代は、型を破ることを探しました。冒険が大好きで、危険を冒すことを厭いません。ブーマー世代は、成功を個人的充実感で評価します。終身雇用がもはや存在しないことに気が付いた最初の世代であり、このため、ブーマー世代にとっては職の安定がすべてではなく、仕事のやりがいを重視します。女性が労働力として組み込まれた結果、ブーマー世代は、個人生活における仕事の意義を再評価することが余儀なくされました。

ブーマー世代は、新しい家族の形を生み出したために、新しいストレスも被りました。ブーマー世代は、その前の2つの世代より離婚率が高い最初の世代となりました。

ブーマー世代には郷愁を誘うメッセージが一番効果的で、また、ネットワーキング行事を楽しみます。このグループへのソロプチミストのメッセージのよい例としては、「ソロプチミストは、他の女性が輝くのを助ける、最高に輝いている女性たちです」。直接の手紙、顔を合わせてのやりとり、特に資金調達に関してはインターネットとEメールによるやりとりが、この世代を結び付ける最もよい方法です。

### **ジェネレーションX：1965年から1981年までに生まれた人（25-45歳）**

このグループは、ブーマー世代によって作られた新しい家族体系の中で育った最初の世代であり、このためとても自立しています。X世代はまた、ブーマー世代の「権威に対する疑問」姿勢をすぐさま採用し、（親の権威に疑問を抱いて）ブーマー世代の親たちを失望させました。X世代は、断固として関与し、責任を持ち、主導権を握ります。テレビを見て育ったせいでシニカルな見方をする傾向があり、目の前にあることに関心を向けます。このグループは、危険を恐れませんが、計算されたりリスクをとり、権威に怯みません。問題解決能力があり、目的志向で、柔軟性を求めます。

X世代とコミュニケーションする最もよい方法はEメールです。このグループは、電子技術に大変慣れ親しんでおり、様々なオンライン・メディアを利用します。社交行事は得意で、テーマを持ったイベントやワイン試飲会などは人気がありますが、「リクルート」行事と呼ばれるようなものには反応しません。楽しそうではありませんし、何かの売り込みのように聞こえるからです。この世代は、実際の費用あるいは費やした時間という投資に対して、何かを得ることを望みます。

### **ミレニアルズ / ジェネレーションY：1982年から2000年までに生まれた人（10-24歳）**

この世代は、SIAの将来ですから、このグループが最初に職場やボランティア組織に加わるときにどのようにコミュニケーションをとるかについて考えるのは、早すぎることはありません。このミレニアルズ世代は、インターネットで育った最初の世代です。インターネットが存在していなかった時代について記憶がありませんので、ミレニアルズ世代の多くは、技術に依存しています。

ミレニアルズ世代は、過剰に刺激を受けていますので、すぐに飽きてしまいがちです。この世代は、少なくとも5年に一度は転職するだろうと考えています。そうしたことから、このグループには肩書はあまり意味がありません。敬意は肩書ではなくどんな仕事をしたかによって得るものだと考えています。この世代は、目的志向で、サイレント世代と同様にチームプレーヤーです。

### コミュニケーションの秘訣

複数の世代が共存するクラブは、すべての会員を理解するという大切な仕事があります。よいコミュニケーションは個人的にも仕事上でも上手にやっていくための鍵です。他の人とつながることができ、よい関係を築けるといえるのは、一生涯役立つ基礎技能です。コミュニケーション努力を導く次のヒントを参考にしてください。

- 上記で紹介された世代間の違いをよく読み、熟知してください。
- 表紙で本の中身を判断しないようにしましょう。つまり外見にとらわれないことです。
- 何を言うかを認識することが大切ですが、もっと重要なことはどのように言うかです。世代間の衝突はしばしば、トーンやスタイルの誤解から生じます。
- 「年齢にとらわれない思考」をしましょう：自分で年老いていると思えばその年齢になりますし、若いと思えば、若くなります！
- 世代間の違いと、多彩な年齢層のメンバーからなるチームとしてどのように活動するかについて、説明会を開きましょう。
- メンタリング・プログラムを作ることを検討しましょう。
- クラブの例会でチーム構築のための活動を盛り込んでみましょう。
- 協力的な計画作り、意思決定、あるいは問題解決のための議論を行うようにしましょう。
- 様々な方法（電話、Eメール、直接顔を合わせて）で、情報を伝達しましょう。様々な手段でコミュニケーションすることは、会員全員が活動に関わり情報を知らされていると感じようにするのを確実にします。
- 個人的スケジュールの都合や、ワーク・ライフ・バランスの問題、非伝統的なライフスタイルといった違いを受け入れるようにしましょう。
- お互いに尊重しましょう。新しい会員から長く経験を積んだ会員まで、全員に貢献できる素晴らしい点があり、それぞれの最善を引き出し、意欲が湧くように扱きましょう。
- それぞれの会員の長所を最大化するようにしましょう。
- お互いに忍耐強くなりましょう。少しの努力も積み重ねれば大きくなります。

ソロプチミスト・クラブはそれぞれ、会員と同じだけ多様性に満ちたものだとすることを忘れないようにしましょう。今日状況の中で、会員にとって便利かつ有意義なものにしながら、ソロプチミストの使命を推進することがクラブの目標です。効果的なコミュニケーションは、衝突を減らし、協力を促進し、つまりは会員のソロプチミストへの献身を強めるものだとすることを思い起こしてください。

たとえクラブの世代分布が様々でも、だれもが同じ理由でそこに参加しているのです！